

密集市街地の改善



古くからのコミュニティも生かしながら、居住環境と安全性の向上を図り、活気あるまちに再生します。

● 背景 ●

木造密集市街地が残っています。

生野区南部地区は大阪の都心に近接し、交通利便性が高く、寺社や旧街道等の歴史的遺産とともに、戦前からの「長屋」、「裏路地空間」等下町文化が色濃く残る地域です。

しかし、老朽木造住宅が密集し、道路や公園が未整備なことから、防災面や住環境面から多くの課題があります。

- 面積:98.5ha
- 世帯数:約7,300世帯
- 住宅数:約8,700戸

● 事業内容 ●

密集市街地の改善を図ります。

平成6年度に地元住民で結成された「生野区南部地区まちづくり協議会」と連携して、老朽な住宅密集市街地のモデル事業として整備を実施しています。

■老朽住宅の建替促進

- ・都市再生住宅の整備
- ・共同建替の支援

■改良住宅の整備

- 道路の整備
こほれぐちしゃりじ
・河堀口舍利寺線の整備
・狭あい道路拡幅整備

■公園の整備

- ・南生野公園の整備
- ・まちかど広場の整備



整備されたまちかど広場

● 事業効果 ●

居住環境と安全性の向上が図られます。

老朽住宅の建替促進と都市計画道路や都市計画公園等の公共施設整備を一体的に行い、住環境の整備と災害に強いまちづくりを同時に進めています。

生野区南部地区 まちづくり協議会

住民参加のまちづくり組織として、地元7地域振興連合町会の代表の方々等から構成しています。まちかど広場の整備等に地域の方々のアイデアが色々盛り込まれています。



住宅の現況



まちづくり協議会のような